

『すいんぐ』の配布に密着!!



1 午前9時ごろ、『すいんぐ』を積んだトラックが到着。荷受け担当が手際よく冊子の束を下ろしていく



2 エリアごとの部数に分けて、配布を担当する会員宅への配達準備。部数を管理するのも荷受け担当の仕事。自身の担当するエリアの分を直接引き取りにくる配布担当もいる



3

エリアごとに小型トラックに積み込んで配布担当の元へ

4

冊子は1週間ほどでそれぞれのエリアの配布担当が配り終える

取材協力 公益社団法人 吹田市シルバー人材センター
吹田市千里山松が丘26-23
TEL. 06-6369-3300 FAX. 06-6369-3030
http://webc.sjc.ne.jp/suitasc

街路樹の除草作業

庭木の剪定作業

ボランティアで市街地のゴミ拾い

「ウォーキング同好会」など趣味の活動も

創刊号より『すいんぐ』の配布を担当

小誌『すいんぐ』が印刷所から運ばれてくる朝、同センターには台車を準備し待ち構える人たちの姿があった。シルバーの会員として働いている方々(以下会員)だ。トラックが到着すると、6万2000部にもなる誌面の束が手際良く荷台から運び出される。ここから配布を担当する会員に分配された後、会員一人ひとりの手で各戸へ届けられる。

『すいんぐ』の配布を担当しているのは平均年齢70歳、総勢60名の会員たち。誌面の束は重く、夏は炎天下、冬は木枯らしの中での配布は、体力と共に根気が必要だろう。しかし会員たちは朗らかな笑顔を浮かべる。「わたしも『すいんぐ』の

読者。毎月の特集記事を楽しみにしているんですよ。そう話してくれたのは、ご夫婦で配布を行っているという井澤タマヨさん。新しいマンションが立ち並ぶエリアを担当し、毎月1650部を1日で配布する。また、創刊号から配布を担当している北村武さんは「街を歩くのって面白いですよ。地域の人たちと挨拶をしたり、声を掛け合ったりするようになりました」と語る。「自分のペースでするのもいいですね。身体を動かすから、運動不足解消にもなりますよ」(北村さん)。荷受けから配布まで、経験豊富な会員たちの迅速で無駄のない動きはまさに百戦錬磨。それでいて、街の人々との関わりを大切にしながら、一冊一冊丁寧に届けるその仕事ぶりに、身が引き締まる思いがした。

豊かな技能、社会経験を地域に還元

同センターが請け負っている業務は「清掃」、「包装・梱包」といった軽作業から「家事」、「家庭教師」など家庭に寄り添った業務、「経理事務」、「大工仕事」などの専門技能分野まで、とにかく幅広い。長期に渡り、社会人として働いてきた方々の技能や経験を、地域に還元できる仕組みを整えてきた。また、経験を活かす業務だけでなく、新たな挑戦をしていく姿がここにはある。「最近ではヘルパーの資格を取得して、専門的な視点をもって仕事にも参加できるようになりました」。そう話すのは同センターに登録して9年目の森田紘正さん。さらなる可能性を広げていく様子に、定年退職後のイメージ

吹田市シルバー人材センターの業務・活動等(一部)

ジが覆される。ここで出会う一人ひとりの表情が充実感に満ちているのは、たゆまぬ向上心や仕事を楽しむ姿勢があるからに違いない。小誌の配布を含め、地域に密着した様々な仕事を、頼もしく感じた。



巻頭特集 豊かな経験で地域に貢献!

公益社団法人 吹田市シルバー人材センター

『すいんぐ』を創刊より支えてくれている『吹田市シルバー人材センター』。地域密着の仕事に、やりがいをもって取り組む人々を取材した。



「シルバー人材センター」は高齢者の生活の充実と、地域社会への貢献を目的に、昭和50年に東京都江戸川区で「高齢者事業団」として発足した。吹田市では同様の事業が昭和53年にスタート。昭和55年には全国的に「シルバー人材センター」として統一され、高齢者が自身の時間を有効活用しながら、自ら培ってきた経験や技能をもって地域社会に貢献できる機会を提供してきた。現在『吹田市シルバー人材センター』(以下、同センター)には1800名程が登録している。会社を定年退職してからも趣味に仕事に意欲的で、同センターを通して業務に従事することを望む人々が増えていくと同時に、地域の企業や家庭、公共団体等からの仕事の依頼も増加傾向にあるという。「新しいことに挑戦したい方はぜひ会員になってほしい」と話すのは事務局長の松原さん。現在、さらなる活躍の場所を用意できるよう、新たな事業拡充にも力を入れているようだ。同センターへの会員登録は、「吹田市に居住する60歳以上の方で、同センターの考え方に賛同し、生きがいの充実や社会参加を望む方」であれば誰でも可能だ。

常務理事 兼 事務局長 松原秀樹さん
就業機会開拓推進員・派遣コーディネーター 佐々木達夫さん

世の中のニーズを受けて、活躍の場は広がっている